

令和 3年度（2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	交通政策課
	施策	自転車の利用環境の向上		電話番号	087-839-2138
	基本事業	快適な自転車利用のための環境整備		事業実施主体	市
	事務事業	レンタサイクル事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	環境にやさしく、機動性に優れた都市内交通手段である自転車を、市民の利用に供することで、近距離移動の利便性を向上し、合わせて放置自転車の防止を図る。				
3年度概要	レンタサイクルポート：7箇所 レンタサイクル台数：約1,250台 管理システム更新 自転車等駐車対策総合計画策定				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	市街地中心部における主要鉄道駅利用者 （JR高松駅、JR栗林駅、琴電高松築港駅、琴電片原町駅、琴電瓦町駅、琴電栗林公園駅）
意図（どのような状態にしたいか）	自転車利用者の利便性を向上させることで、近距離交通手段としての自転車利用を促進させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
レンタサイクルの利用可能日数	日	365	366	365	365	365

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
放置自転車撤去台数（禁止・整理区域）	台	目標値	3,790	3,780	3,000	3,000	3,000
		実績値	2,719	2,254	1,373		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 商店街クリーン作戦の実施など周知啓発を図るとともに、放置自転車の撤去を継続的に実施したことや、新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛の影響もあり、目標値を達成できた。		(目標達成度)					(達成度)
							154.2%
							35点
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 既存車両の新デザイン化を図るなど、利用促進策を講じたが、新型コロナウイルス感染症拡大による外出の自粛など、各ポート利用者が減少したことにより、目標達成に至らなかった。		(目標達成度)					(達成度)
							66.7%
							23点

【コストの推移】

指標名	単位	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（予算）
トータルコスト	[円]	76,322	70,672	182,646	163,588
（事業費）	[円]	67,928	64,222	176,286	157,228
（職員人件費）	[円]	8,394	6,450	6,360	6,360

【評価】

評価ランク（A～D）	<b>B</b>	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	<b>改善継続</b>
------------	----------	--------------------------	-------------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

通勤、通学、買物、観光等の近距離交通手段として、年齢・職業・居住地等、幅広い層からの利用があったが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大幅な減少となった。また、新システム運用における管理手法を見直し、ランニングコストの削減を図るための、レンタサイクルシステムの再構築を行った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

平成26年度に決定した新デザインを施した車両を順次増やすほか、レンタサイクルのシステム等、機器更新について、レンタサイクルの多様な在り方を踏まえた管理システムを構築するとともに、次期指定管理者指定に併せ管理手法を見直し、支出の改善を図る。

令和 3年度 ( 2年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	道路整備課
	施策	自転車の利用環境の向上		電話番号	087-839-2516
	基本事業	快適な自転車利用のための環境整備		事業実施主体	市
	事務事業	自転車利用環境整備事業		事業期間	平成 28年度 ~ 令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	平成 20 年 11 月に、自転車を利用した香川の新しい都市づくりを進める協議会、高松地区委員会、安全空間確保部会(国・県・市・県警・市で構成、以下「安全空間確保部会」)において策定した、高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針に基づき、国・県・市・県警等と連携し、自転車道などを整備することにより、自転車を本市の重要な都市交通手段として有効に活用し、歩行者と自転車の安全で快適な空間の確保や、人と環境にやさしい交通まちづくりを目指す。				
3年度概要	市道五番町西宝線ほか 29 路線 自転車走行指導帯等の整備 五番町西宝線 塩屋町錦町線				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備		

【事業の目的】

対象(何を)	対象施設: 「自転車ネットワーク整備方針」に位置付けられている市道 対象者: 自転車利用者
意図(どのような状態にしたいか)	自転車走行指導帯等を整備することにより、歩行者と自転車を分離し、それぞれの安全性・快適性の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
単年度自転車道等整備延長	k m	0	1.6	0.2	1.2	1.1

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
自転車道等整備済延長	k m	目標値	11.1	12.6	11.8	13	14.1
		実績値	9	10.6	10.8		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	令和 2 年度においては、五番町西宝線を 0.2 k m 整備し、当該路線は計 1.6 k m を供用している。 (目標達成度)						(達成度) 91.5% 32点
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[千円]	33,574	141,978	100,224	60,646
(事業費)	[千円]	12,400	119,214	77,778	38,200
(職員人件費)	[千円]	21,174	22,764	22,446	22,446

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

五番町西宝線において自転車道整備を実施し、供用区間を延長した。引き続き、残工区の整備を行い、全線開通させるとともに、自転車走行指導帯等については、計画的に整備予定路線の事業に着手していく必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

今年とも国・県と連携をしながら効率的な整備を進めるために、「高松市自転車ネットワーク計画推進協議会」において改定した「高松市自転車ネットワーク計画(路線網図)」に基づき、計画的に整備を進めるとともに、同協議会等において、整備効果等を共有しながら、より効果的で効率的な整備手法の検討など、「高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針」の見直し等についても協議を行っていく。